

参加費

無料



公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

多文化共生 フィールドワーク

～多様性を育み、共に暮らす、共に楽しむ住み心地のよいまちづくりとは～

日本人も外国人住民もお互いに住み心地のいい、
誰にとっても居心地のいい町とは

どのような地域であつたらいいとみなさんは思いますか。

そのヒントを見つけに、神奈川県内外、2地域においてフィールドワークを行います。

町歩きや地元で暮らす方々からのお話を聞いて一緒に考えてみませんか。

第1回

鶴見

(横浜市鶴見区)



横浜市鶴見区には沖縄や南米にルーツを持つ人が多く居住しており、多様性豊かなコミュニティが息づいています。地域に密着した団体の取り組みを伺い、商店など住民の生活に身近な多文化スポットをご案内いただきます。

日時 2024年9月28日(土)
14:00～16:30 (13:40 受付)

集合 おきつる会館ホール
(横浜市鶴見区仲通3丁目 74-14)

案内役 NPO法人 ABC ジャパン理事・
関東学院大学社会学部准教授
藤浪海さん

第2回

新大久保

(東京都新宿区)



多様な文化が融合するエリアとして発展し、さまざまな“多文化”が共存する魅力的な地域、新大久保。この地域の歴史の流れと、その地理的条件がどのように影響を与えてきたのかを、新大久保に精通した講師にご案内いただきます。

日時 2024年12月7日(土)
13:00～16:30 (12:40 受付)

集合 戸山公園サービスセンター前
(新宿区大久保3丁目 5-1)

案内役 ジャーナリスト
室橋裕和さん

対象 神奈川県内に在住・在勤・在学の方(各回先着20名)

応募方法 下記ホームページの参加フォームからお申込みください。
https://willap.jp/p/acc_4614/tabunka_fieldwork/
※各回お申込み可能です。

締め切り 定員になり次第締め切りとさせていただきます。





案内役プロフィール



NPO 法人ABC ジャパン理事・関東学院大学社会学部准教授

ふじ なみ かい
藤浪海さん

神奈川県で移民支援に関わりつつ、日本／沖縄からの移民の歴史や日本に暮らす移民の抱える課題を研究している。近年の著作に「沖縄系としての生活史と『定住』の模索」『海外移住資料館研究紀要』18号（2024年）、「越境する生活史と当事者支援」『移民研究』19号（2023年）など。翻訳にP. コリンズ『インターセクショナルリティの批判的社会理論』勁草書房（共訳、2024年）など。



ジャーナリスト

むろ はし ひろ かず
室橋裕和さん

1974年生まれ。週刊誌記者を経てタイに移住。現地発の日本語情報誌に在籍し、10年にわたりタイ及び周辺国取材する。帰国後はアジア専門のジャーナリストとして活動。「アジアに生きる日本人」「日本に生きるアジア人」をテーマとしている。おもな著書は『ルボ新大久保』（角川書店）『カレー移民の謎』（集英社新書）、『エスニック国道354号線』（新潮社）『日本の異国』（晶文社）など。



集合場所までの行き方



第1回 おきつる会館ホール

住 所 横浜市鶴見区仲通3丁目 74-14 おきつる青少年育成会館 3 階

アクセス 【電車】JR 鶴見線 弁天橋駅 徒歩約10分

【バス】鶴見駅東口より横浜市営バス 3番乗場から
15系統 向井町循環に乗車「仲通3丁目」バス停下車

第2回 戸山公園サービスセンター前

住 所 新宿区大久保3丁目5-1

アクセス 【地下鉄】副都心線・西早稲田駅より徒歩8分程度



※留意事項等、詳細はホームページでご確認ください。

<https://www.kifjp.org/general/tabunkafieldwork>



問合せ （公財）かながわ国際交流財団（第1回担当：大塚／第2回担当：清水）

Email tabunkares@kifjp.org

TEL 045-620-5045

主 催 （公財）かながわ国際交流財団